

## 水ストレス（渇水）の評価

水ストレス（渇水）<sup>※1</sup>については世界資源研究所（WRI）のAqueduct（アキダクト）を用いて国内外の生産拠点の評価を行いました。2024年、2030年においては欧州、東南アジアの拠点で水ストレス下にある地域にあることがわかりました。2050年にはさらに南米の拠点においても水ストレスのリスクが高くなると想定されています。今後は継続的に使用水の削減に取り組んでいきます。

### Aqueductによる渇水リスク評価結果 （生産拠点数）

渇水リスク	水ストレス	2024年	2030年	2050年
大	40%超	2	2	3
中	20~40%	14	15	14
小	20%未満	7	6	6

## 水質汚濁の防止

生産活動にともなう工場排水は処理設備を通じて適正に処理されて工場外に排出しています。排水に含まれる生物化学的酸素要求量（BOD）、化学的酸素要求量（COD）、浮遊物質排出量<sup>※2</sup>などをモニタリングしており、継続的な設備更新と併せて、水質管理システムの改善と規制値を遵守した運転を行っています。また、水質に関する法令違反は発生していません。

### 排水モニタリング項目の推移 （トン/年）

分類	2020年	2021年	2022年	2023年	
日油	BOD	34	50	37	33
	COD	60	67	44	52
	浮遊物質	33	31	22	36
国内グループ	BOD	38	52	39	36
	COD	60	68	44	52
	浮遊物質	40	36	25	42
日油グループ	BOD	104	93	67	74
	COD	219	154	148	171
	浮遊物質	56	46	44	58
法令違反数（件）	0	0	0	0	

※1 水ストレスは利用可能で再生可能な地表水および地下水供給に対する総取水量の比率を測定しています。取水には、家庭用、工業用、灌漑用、家畜の消費的および非消費的使用が含まれます。利用可能な再生可能水供給には、上流の消費水利用者と大きなダムが下流の水の利用可能性に与える影響が含まれます。

※2 水中に浮遊または懸濁している直径2mm以下の粒子状物質のことで、水質指標の一つ。

## 水と排水におけるリスクと機会

分類	主要なリスク・機会	概要	対策
移行 リスク	国内外の規制強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新しい規制が導入されることにより、それに対応するための設備の拡充や管理体制の強化が必要となり、それに伴う管理コストが増大する</li> <li>● 新しい排水規制の導入により、これまでの製品の製造が不可能となり、機会損失により売上減となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 排水処理設備の能力増強</li> <li>● 環境低負荷型製品の開発、提供</li> </ul>
	市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水リスクの高い地域の生産拠点において、水不足による水価格の上昇により、調達コストが増大する</li> <li>● 水リスクの高い地域の生産拠点において、水不足による断水が頻発して生産工場の操業が中断し、機会損失により売上減となる</li> <li>● 水インフラの老朽化により、安定的に水が供給されず、断水が頻発して生産工場の操業が中断し、機会損失により売上減となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水の効率利用の検討</li> </ul>
	評価・評判の悪化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 規制への対応遅れや、環境対応型製品の開発遅れによって、投資家からの評価や、顧客、地域住民からの評判が悪化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取り組み内容の情報開示拡充</li> </ul>
物理 リスク	自然災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長期間にわたる豪雨による排水処理設備の処理能力超過や台風などによる設備損傷により、排出管理が困難となり、それに伴い生産活動が停止することで、機会損失が発生し売上減となる</li> <li>● 気候変動に伴う自然災害による断水や濁水により、生産工場の操業が中断し、機会損失が発生することで売上減となる</li> <li>● 気候変動に伴う洪水の増加により、浸水リスクのある生産工場が損壊し、資産の損失および売上減となる</li> <li>● 汚染物質の流出による</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 排水処理設備の能力増強</li> <li>● 水の効率利用の検討</li> </ul>
	慢性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地下水の過剰取水により、地下水利用工場の所在地周辺地域で地盤沈下が発生し、多額の損害賠償が生じた上、長期にわたる操業停止により売上減となる（愛知事業所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水の効率利用の検討</li> </ul>
機会	水質汚濁解決に貢献する製品のニーズ拡大	<p>【水質汚濁の緩和】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アスファルト合材付着防止剤、環境対応型船尾間軸受油、生分解性潤滑剤、凍結防止剤、鉛フリー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境対応型製品の開発、提供</li> </ul>
	評価・評判の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 積極的な排出管理対策、貢献製品の開発・提供により、投資家からの評価や、顧客、地域住民からの評判が向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取り組み内容の情報開示拡充</li> </ul>